

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 扶桑薬品工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番10号	
本票作成	部署名：生産本部岡山工場施設課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品製造 従業員:294人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県浅口郡里庄町里見9033番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	7,368 t CO ₂			7,294 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	岡山工場		7,368 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産金額	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		69.54 t CO ₂ / (億円)	68.84 t CO ₂ / (億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

- ・設備更新及び新設時は、高効率の機器を選択する。
- ・製造ラインは、エネルギー使用状況を監視しライン毎の原単位管理を行う。
- ・動力設備は、季節に合わせ省エネ性の高い運転管理を行う。
- ・省エネルギー法に基づき原単位の削減に努める。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・省エネルギー法に基づきエネルギー推進者を中心としたエネルギー管理組織を編成。
- ・各工場では、エネルギー管理責任者を中心に省エネルギーを推進。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	H18年 ヒートポンプ式冷凍機をターボ冷凍機に更新 (CO2削減量146t/年) H19年 LPGから都市ガス13Aに燃料転換 (CO2削減量781t/年) 吸収式冷温水機(500USRT)を高効率形に更新 (CO2削減量109t/年) H24年 PLD滅菌機2基の温水槽断熱 (CO2削減量30t/年) H25～26年 ボイラ送付機インバーター制御及び台数制御運転の実施 (CO2削減量59t/年) H26年 高圧トランス更新2期 (CO2削減量23t/年)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山工場	H27年 高圧トランス更新3期 (CO2削減量5t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・医薬品製造工程の環境基準に対応する為のエネルギー使用量が増加する場合は、基本計画を見直す。
- ・機器の更新及び新設時は省エネ性の高い物を選択する。
- ・省エネルギー実施の為、既設製造ラインにエネルギー計測器（電力・エア）及び非生産室に温湿度測定器を設置し見える化を強化する。
- ・電力はデマンド制御を行い設定値を超過させない。
- ・環境省推進のライトダウンキャンペーンに参加する。
- ・新入社員研修時に省エネルギー及び環境の教育訓練を実施する。
- ・6月1日～10月31日の間、クールビズを実施する。